

創価大学に対する大学評価結果ならびに認証評価結果
＜経営学部＞

教育内容・方法

(1) 教育課程等

経営学部

人間主義に基づく経営理念の実現に向けたカリキュラム体制が、共通科目、専門科目、自由選択に分類され、各科目の位置付けが学部の教育目的と関連付けられており、教育内容の整備が概ね達成されている。カリキュラムにおいても、情報関係、会計、経営、マーケティングの領域の科目とそれらの講義内容が充実していることは評価できる。

学部教員代表が所属する共通科目運営センターの役割や 30 単位の自由選択科目など特色ある取り組みは高く評価できる。学士課程への橋渡しとしての専門基礎科目も比較的充実している。

グローバル・プログラムの設置は外国語教育のみならず教養的・総合的な視野の育成にも有意義と判断できる。

(2) 教育方法等

経営学部

履修指導、履修登録単位数の上限設定については概ね適切に行われている。また、GPA制度による厳格な成績審査を実施することで学生の質の検証を図る工夫がなされ、成績不振者や早期卒業を含む成績優秀者への対応、授業評価の取り組み、教育改善への組織的取り組みが着実に進んでおり、それらの効果も確認できる。

ただし、シラバスの内容については精粗が見られ、評価方法を記入していない教員が目立つ。また、演習科目におけるゼミ論文の位置付けを明確にすべきである。

(3) 教育研究交流

経営学部

国際舞台で通用する人材の育成という学部の教育目的を具現化するため、2004（平成 16）年度に海外でのフィールド・スタディを主体とするグローバル・プログラムによって国際交流への取り組みが開始され、20 人以上の学生が履修している。また、専任の外国人教授による専門科目が常置されているなど、教育・研究交流の制度的枠組みは概ね整備されている。

ただし、グローバル・プログラムは履修学生数に制約が設けられており、今後の展望を示すべきと考えられる。また、受け入れ留学生は一定数在籍しているものの、学

内の留学制度を利用する学生が少ないため、ガイダンスを含め充実策を検討すべきである。さらに、英語など外国語の認定試験の準備講座を開講することが望まれる。

学生の受け入れ

経営学部

学部における受け入れ方針とそれに沿った定員管理は概ね適切に行われている。学部独自の入学選抜方法としてAO入試と公募推薦入試が採用されているが、学部の理念・目的に適合した学生を選抜するのに効果的と判断できる。AO入試では課題探求型の起業家精神に富んだ人材を集める選抜方法がとられ、公募推薦入試では簿記、情報など経営関連の各種資格試験の取得状況を選抜基準に加味するといった形で明確な受け入れ方針が打ち出されている。また、学生の受け入れ方針は入試要項にも明記されており、公正さも確保されている。

研究環境

経営学部

研究成果発表数では過去5年間の教員1人あたりの年平均が2.25本あり、堅調な研究活動がなされていると見受けられることから、研究費・研修機会の保障とあわせて目的は概ね達成されていると判断できる。一律43万円の個人研究費に加えて、競争的研究費として文系学部等教員研究費が支給されるデュアル・サポートシステムにより、各プロジェクトの総額が500万円を超えない範囲で給付される。

在籍学生に比して専任教員が少ないことは、教育・研究活動に支障をきたすおそれがある。ただし、在籍する個々の専任教員、特に若手専任教員の研究活動は、日本経営学会をはじめとして、国内外の学会などにおいても活発である。

ティーチング・アシスタント（TA）制度により研究に時間が捻出でき、コンピュータ、専任教員の個人研究室など、十分な研究環境が整備されている。

教員組織

経営学部

クリエイティブ・マネジメント・コースの経営管理関係分野に専任教員が5人在籍していることは、このコースの学生は選択の余地が多いということを示しており評価できる。ただし、2コース8分野の教員数の配分についてはバランスに配慮し適正化を検討する必要がある。

専任教員の年齢構成は適正であるが、教員1人あたりの在籍学生数が63.4人となっており、教育目的の達成を妨げる要因になりかねないと考えられる。なお、1人の専任教員採用枠が理事会より承認されているとのことだが、依然として改善が必要で

あることには変わりはない。

施設・設備

経営学部

教室および研究室におけるパソコン、共同研究室や資料室など、教育・研究を行う上での十分な施設・設備が整備されている。また、教員研究室のパソコンなどは4年に一度買い換えられている。

学部独自の教育用機材については、利用者責任の原則が確立されていることから、適切かつ整然と管理されている。また、施設・設備について学生を交えた定期協議会を開催している点は評価できる。